



だいせんこふん だいせんこふん 大仙古墳（大山古墳）は、どんな古墳なの



日本一大きい古墳といわれる前方後円墳で、仁徳
天皇のお墓とされているんだよ。

大仙古墳（大山古墳とも書く）は、大阪府堺市大仙町にある前方後円墳で、日本一大きい古墳といわれています。百舌鳥古墳群の中にあり、墳丘（土を積み上げたおか）の全長は486メートル、前方部のはばは305メートル、後円部の直径は249メートルあります。墳丘の周りは、三重のほりに囲まれています。

調査できない古墳

この古墳は、もともと、だれの古墳か、わからなかったのです。明治時代に法律で、仁徳陵（仁徳天皇のお墓のことで、百舌鳥耳原中陵ともいう）に指定されてからは、立ち入り禁止になりました。それ以来、学者がこの古墳を調査することもできず、本当に仁徳天皇のお墓かどうか、わからないままです。

前方部の石室に、石かんがあった

1872（明治5）年、この古墳の前方部の正面が、あらしでくずれて、たてあな式石室が現われました。この事件については、あらしでくずれたのではなく、県令（今の県知事）がほらせておいて、うその報告をしたのだ、ともいわれています。石室の中には、石かん（石のかんおけ）があり、柏木政矩という絵師が、石室や石かんのようすを、絵にかきました。

後円部の石室の石かんは、からっぽらしい

江戸時代の記録によると、17世紀の終わりごろには、後円部の石室の天井の石が、むき出しになっていました。古墳の主の石かんは、すでに盗掘されて、からっぽになり、石かんのふたの石は、庭石にされていたそうです。

ことばの意味 石室 古墳で、周囲に石を積み重ねてつくった部屋。いしむろ。